

平成23年11月議会臨時会 行政報告

総務課

ソフトバンクによる風力発電構想について

平成23年9月20日に、ソフトバンク株式会社社長室室長が来庁され、日本海沿岸の風力発電構想（オロロン・ロマンチック・ウインドロード構想）についての説明を受けました。

北海道西海岸線全域には、風力というすばらしい潜在力があり、その潜在力を生かした、国内最大級の風力発電施設群（発電量5ギガワット級）の建設構想実現に向けた勉強会への参加を要請されました。

この構想の実現のためには、風況調査や環境アセスメント、送電の系統接続等の問題もあることから、自治体とソフトバンク(株)で勉強会を行い、各種問題の解決策について協議を進めていきたいというものです。

当町も、町内北里に3基の風力発電施設があり、風力発電という自然エネルギーの必要性を認識していると共に、本構想実現の際は、経済効果も期待されることから、今後開催される勉強会に参加したいと考えております。

平成23年11月 議会臨時会 行政報告

生活課

荻野病院デイケアセンターのエリア拡大について

去る9月15日に、医療法人社団 萌仁会 荻野病院の大村デイケア部長が来庁され、デイケアセンターのエリア拡大について説明を受けました。

内容は、平成24年4月に羽幌町へ新たにデイケアセンターを開設する予定で、対象は精神障害、規模は20人～30人、対象エリアは天塩町まで、利用者は無料バスで送迎するとのことでした。

さらに、将来的には精神科における訪問看護の拡大や認知症なども対象にしていきたいとのことでした。

町に対しての要請として、PRの協力、看護師の紹介などの依頼を受けました。

町からは、PRに協力することを回答いたしましたが、看護師については遠別町立国保病院でも不足しており、確保するのに苦労していることを説明いたしました。

遠別町では、精神障害でデイケアセンターを必要とする方が複数おられますので、福祉環境等の向上に繋がるものと期待をいたしております。

平成23年11月 議会臨時会 行政報告

生活課

東日本大震災の義援金について

3月11日に発生した東日本大震災におきましては、遠別町内でも直ちに、町が担当する「日本赤十字社遠別分区」と社会福祉協議会が事務局を担当する「遠別町共同募金委員会」の2ヶ所が中心になり義援金の受付を行って参りました。

当初の予定では、いずれも9月30日で義援金の受付を終了する予定でありましたが、過去に例のない甚大な被害の大震災であったため、日本赤十字社及び中央共同募金会において義援金受付期間を来年3月31日まで延期いたしました。

これに伴い遠別町内におきましても、それぞれの団体での義援金受付期間を、来年3月31日まで延期しております。

これまでに寄せられた義援金について報告いたします。

10月30日現在、日本赤十字社遠別分区には420,154円、遠別町共同募金委員会には836,672円が寄せられました。

寄せられた義援金は、順次、速やかに日本赤十字社及び中央共同募金会へ送金されております。